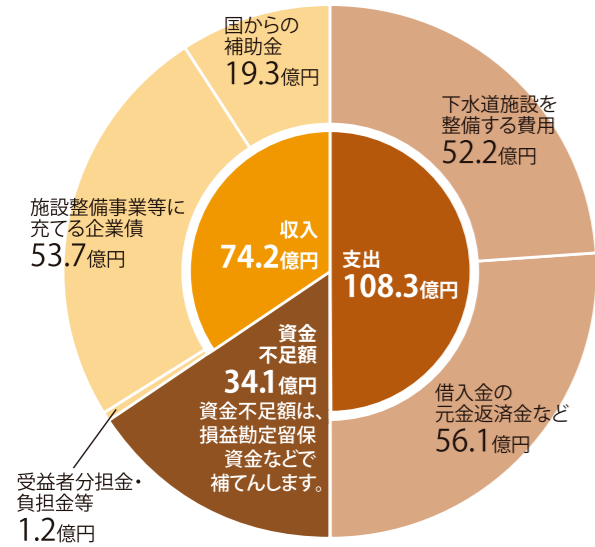


「何に!?」使われてるの? 水道料金と下水道使用料

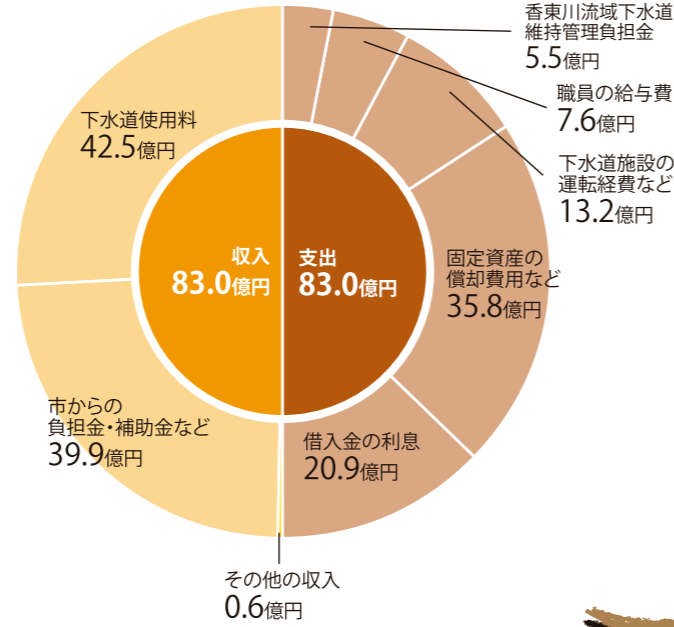
資本的収支

下水道管などの下水道施設を整備するために必要な経費・財源です。



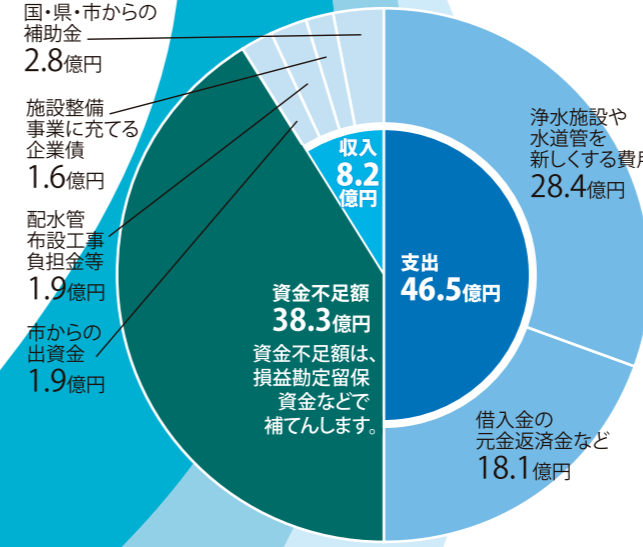
収益的収支

浸水被害から街を守り、汚水を浄化するために必要な経費・財源です。



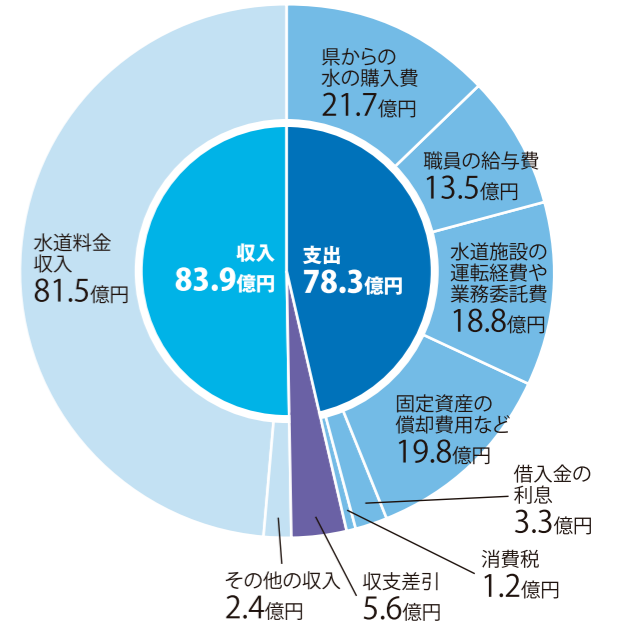
資本的収支

水道管などの水道施設を整備更新するために必要な経費・財源です。



収益的収支

水道水をつくり、家庭へ運ぶために必要な経費・財源です。



汚水を浄化して自然に返すために、下水処理場の運転・管理を行っています。

川や海を汚している主な原因は、家庭からの生活排水です。自然環境を保全してきれいな水を将来に残していくために、下水処理場は大切な役割を担っています。今年度は27,375kmの汚水を処理する計画で、その費用として約7億円を予定しています。



高松市の水道水の約6割は、香川県営水道から購入している水道水です。普段お客さまにご利用いただいている水道水の約6割は、早明浦ダムを水源とする香川県営水道から購入している水道水です。今年度もその購入費用として約21億7千万円(1㎡あたり71.4円)を予定しています。

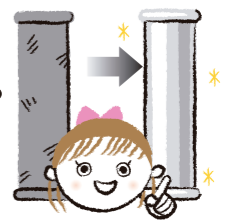


高松市の水道水の約6割は、香川県営水道から購入している水道水です。



水道水の安定的な供給のために、配水管の布設や布設替えを行っています。

道路で見かける「水道工事」では、地震被害や漏水事故などによる断水の影響を少なくするための配水管の布設や、老朽化した配水管の布設替えを行っています。今年度は約20kmの配水管を布設・布設替えする計画で、その費用として約18億7千万円を予定しています。



「汚水私費・雨水公費」の原則

下水道は、衛生的で快適な生活に不可欠な「汚水処理」の役割と、大雨や洪水などから街を守る「浸水(雨水)対策」の役割を担っています。原則として、「汚水処理」のために必要な費用はお客さまからいただく下水道使用料で賄い、「浸水(雨水)対策」に必要な費用は税金で賄うこととされていますが、高松市では「汚水処理」のために必要な費用をお客さまからいただく下水道使用料で賄い、不足する費用を企業債の発行で補っています。

汚水管の整備や浸水対策のための雨水管の整備を行っています。

現在、汚水管の整備は仏生山町や香川町などで進めています。また、平成16年の台風23号などにより、著しい浸水被害を受けた中心市街地では、雨水を速やかに排除するための雨水バイパス管の整備を進めています。今年度は約15kmの汚水管や雨水管を整備する計画で、その費用として約35億4千万円を予定しています。

